

22. 困窮している子ども達に学習支援を行う無料こども塾活動

グループ名 反貧困セーフティネット・アルプス 無料こどもじゅくチーム

代表者 中島嘉尚

① 活動の目的

子どもの格差と貧困は広がり、深刻な問題となっています。子どもの貧困は、不登校、いじめ、病気、家庭崩壊、虐待等の問題となって学びや生活困難に繋がっていきます。困難を抱えた子どもたちが安心して楽しく学ぶ機会を地域で支えることにより子どもが未来に向かって歩むことを応援すること。

② 活動概要

平成 21 年 12 月松本地域を中心に「反貧困セーフティネット・アルプス」が結成され活動が始まりました。ホームレス支援、生活相談、きずな村開催などの活動を継続的に進めて来ました。平成 25 年 4 月松本市の「子どもの権利条例」を制定施行を機に「子どもの貧困」問題にも取り組むことになりました。子どもたちが、親の経済的困窮により学び成長する様々な権利を奪われないように応援する地域サポートとして「無料こどもじゅく」を始めることになりました。平成 25 年 5 月から月 2 回土曜日の午後 1 時半から 2 時間間の無料こどもじゅくを始めました。対象の子どもは小学生から高校生とし、学年、習熟度に応じ個別支援を基本にすすめ、ボランティアも子どもも松本市を中心に隣接の塩尻市安曇野市から参加しています。途中でおやつ時間もいれ、楽しいおしゃべりタイムももち、子ども達が安心して交流し学べるように取り組んでいます。会場は松本市の田川公民館（無料）、労働組合会議室併用でしたが、平成 27 年 12 月から松本駅から徒歩 1 分の松本協立病院の会議室に会場を移しました。ボランティアは主に元教師、元塾講師、元児童福祉司、学生、医療従事者です。ボランティアも子どもも松本市を中心に近接の塩尻市安曇野市などから参加しています。

開催日は毎月第 1、第 3 木曜日（午後 6 時から 7 時半）第 2、第 4 土曜日（午後 1 時半から 3 時半）です。毎回、おやつを準備し、特に夕方開催では簡単夕食（パンなど）を準備し、個別にドリル帳も用意して学習内容の充実を図っています。参加児童に必要なに応じ送迎を行っている。



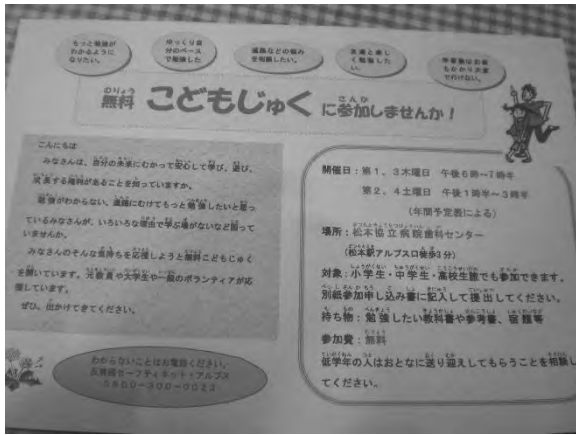
こどもじゅくの様子



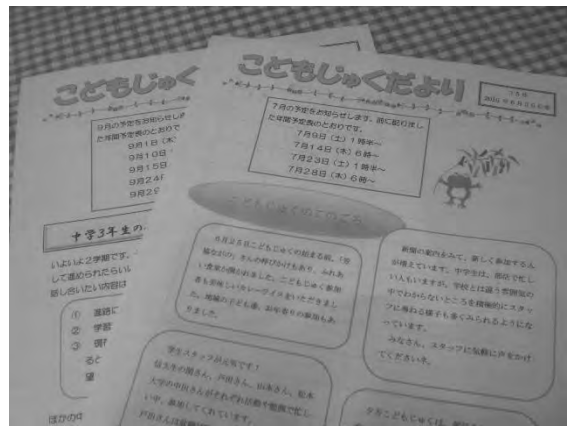
卒業を祝う会



クリスマス会



パンフレット



こどもじゅくだより



問題集



電気スタンド



電気ポット

③ 決算報告書

収 入	大同生命厚生事業団助成金	100,000 円
支 出	会場使用料 2,000 (12 月から無料の会場に変更)	2,000 円
	おやつ代 99,968 (開催 36 回数 延べ参加人数 256 人)	99,968 円
	教材費 17,040 円 (参考書、問題集、辞書)	17,040 円
	通信費 12,300 円 (こどもじゅくだより 10 回発行 150 通)	12,300 円
	機材購入代 26,912 円 (湯沸かしポット 18,360 円、電気 スタンド 4 台 8,552 円)	26,912 円
	交通費 26,800 円 (延べ 67 回×400 円)	26,800 円
	合 計	185,020 円